

今回、一緒に登頂した登山仲間3人にたずねます！

## 福智山登山の魅力と登山パンフレットについて…

### Interview



#### 錦織 佳さん(直方市)

Nishikori Kei

遠くに見て美しく、近くに見てさらに魅力的な福智山。初めて登った時に山頂で味わった360度の大自然と開放感が脳裏に焼き付いて以来、年に数回は訪れています。さらに、「白糸の滝」や「虎尾桜」などの景勝地がたくさんあること

も魅力で、福智山でしか味わえないスポットを求めて、何度も足を運んでいます。今回の登山では、パンフレットで知った情報をもとに、動植物に注目して登山しました。



#### 村上 たあなさん(直方市)

Murakami Taana

起伏に富んだ多様な登山道と刻々と変わる雄大な景色が一番の魅力。また、県内でも有数の標高を誇るため、登頂した時の達成感と絶景が他の山と比べて別物です。パンフレットには、その魅力がふんだんに掲載され、今回が15回目の

福智山登山でしたが、新たな発見をすることができました。まだ行ったことがないスポットがたくさんあることを知りましたので、また登りたいと思います。



#### 小野 里美さん(中間市)

Ono Satomi

山に登った後にいつも思い出すのは、苦しかった記憶ではなく、登山道で交わした仲間との楽しい会話や山頂で味わった爽快感などの良い思い出です。特に福智山での思い出は格別で、見る場所や角度、季節、時間によってさまざま

な顔を見せてくれるため、いつも心が癒されています。パンフレットにはお勧めスポットなどが詳しく書かれ、「登山したい」と、かき立てられる内容が盛りだくさん。友人に紹介したいと思います。

12:00

上野越・福智山分岐点



07

「上野越・福智山分岐点」に到着、所要時間は砂防ダムから約30分。他の登山客と出会い、しばし歓談。



08

福智山の雄大なパワーを、体いっぱい吸い込み、後半戦に挑戦。

11:42

おおつが林道合流地点



06

おおつが林道合流地点に到着。全体の約3分の1程度まで進みました。初心者徐々に足取りが重くなってきます。



09

ここからが正念場、急勾配がしばらく続きます。焦りは禁物。息を整えてゆっくりと歩みます。



05

休憩時は周りを見渡してください。動植物の息吹を感じ、心が癒されます。



10

パンフレット掲載のチェックポイントをくまなく巡り、登山以外の魅力も堪能します。



04

流木や岩が転がる登りが続きます。また、湿った箇所が多いので、足首をひねらないように、慎重に歩きます。

12:40

湧き水地点

### 山でのマナーと心得

#### point 1 入山前編

##### ▶ 登山靴の土を落とす

靴底に他地域の植物の種子が付着していると、知らず知らずのうちに外来植物を持ち込むことになります。

##### ▶ トイレの確認

トイレは山中でしないのが原則。事前に済ませましょう。

#### point 2 道中編

##### ▶ 登山道以外は踏み入れない

むやみに登山道以外の領域に足を踏み入れると、道に迷うリスクが増えるだけでなく、植物を痛めたり、土壌を壊すことになるので、注意しましょう。

##### ▶ 植物は写真で持ち帰る

きれいな花やめずらしい植物を見つけたら、よく観察して写真に納めましょう。決して採取してはいけません。美しい自然環境を守るのも登山客のマナーです。

#### point 3 対人編

##### ▶ 登山者同士声を交わそう

山では積極的にあいさつしましょう。他の登山客との楽しい会話が生まれ、行く先の情報交換にもつながります。

##### ▶ 道を譲ろう

登山道は基本的に「登り優先」です。譲る側は安全を考慮して山側に立ち止まって待ちます。

13:02

山頂到達



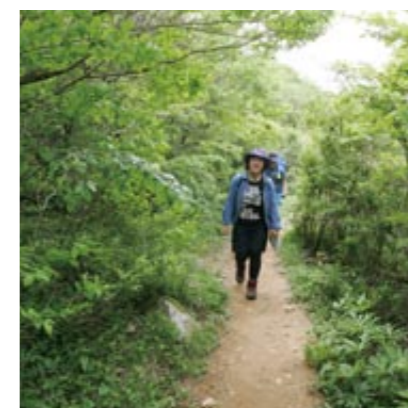
13

約2時間で山頂に到着。頑張った分だけ達成感もひとしお、360度の大自然が疲れを吹き飛ばしてくれます。



12

山頂近くのクマイザサ草原で眼下に広がる絶景を満喫。山頂が悠々たる面持ちで出迎えてくれます。



11

少し傾斜が緩やかになってきます。もうすぐ山頂が見える地点。最後の一踏ん張りです。

GOAL!

福智山の雄大な自然を次代に残すため、マナーを守って登山に臨みましょう。



### バイオトイレ

バイオトイレは、山頂付近の遭難小屋(荒山荘)に併設。微生物の働きで排泄物を消滅させ、排水や汲み取りの必要がない環境にやさしいトイレです。使用料は1回100円。マナーを守ってきれいに使用しましょう。